

米国経済点描 (2008. 6. 07)

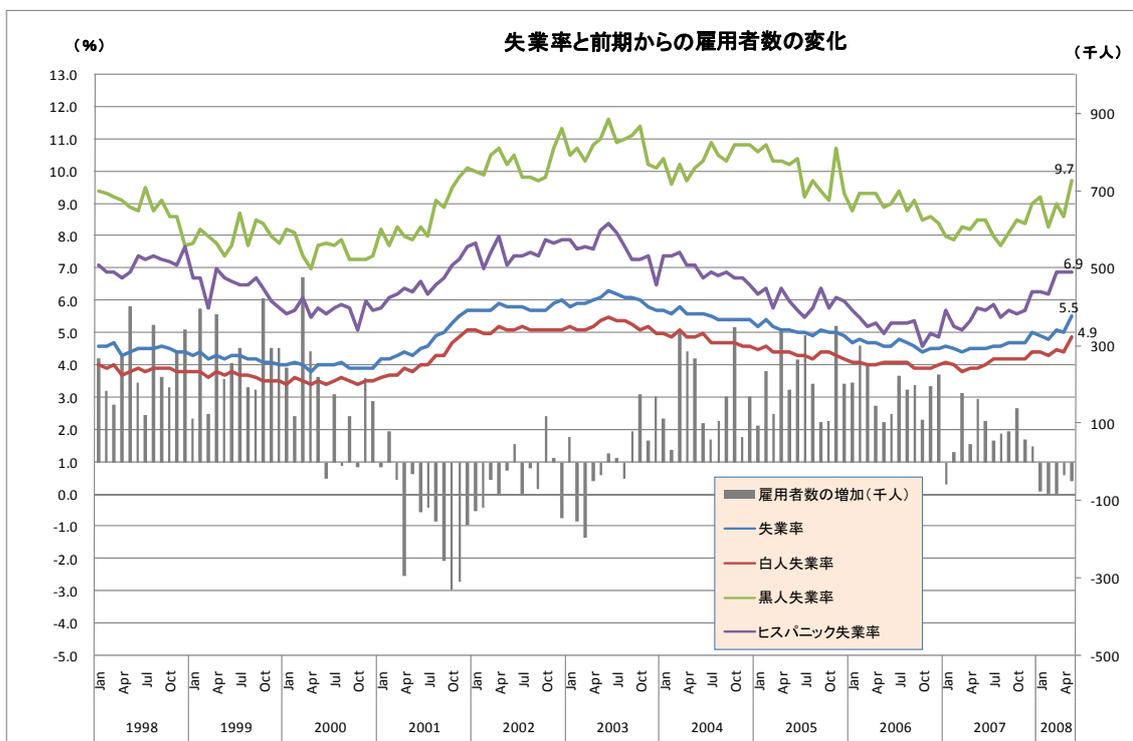
～2008年5月の失業率～

6月6日に米国労働省労働統計局(BLS)が公表した世帯調査に基づく2008年5月の失業率(季節調整済み)は、前月より0.5ポイントも跳ね上がり、5.5%となった。また、同調査に基づく5月の就業者数の暫定値は、1億4604万6千人で、前月より28万5千人減少し、2ヶ月連続の減少となった。

一方、事業所調査に基づく非農業部門の雇用者数(industry payroll employment)も、季節調整済みの暫定値で4万9千人減少した。これで雇用者数の減少は本年1月から5ヶ月連続となった。

ヘルスケアサービスでは依然として雇用増となっているが、建設、製造業、小売業の雇用減が大きくなっている。また、専門サービスも減少に転じた。

年初に比べると失業率は1%ポイントも上昇し、また経済的理由によるパートタイマーに従事する人も過去1年で76万4千人増加しており、雇用情勢はさらに悪化している。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp